

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	独立行政法人建築研究所 (運営費交付金)	担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H13~	担当課室	総務課・会計課・技術調査課		総務課長 吉田光市 会計課長 重田雅史 技術調査課長 横山晴生		
会計区分	一般会計	施策名	11-44 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人建築研究所法)	関係する計画、通知等	第三期科学技術基本計画 (平成18年3月28日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住宅・一般建築・都市に関する耐震、火災安全、省エネルギー、環境配慮、居住性向上等の技術について、行政と連携を図りつつ、調査、試験、研究及び開発並びに技術の指導及び成果の普及等を行うことにより、国民生活の安全・安心の確保、健康・快適で持続可能な社会づくりに貢献することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・国土交通大臣から指示された中期目標に基づき中期計画等を定め、 ①建築基準法、住宅品質確保法、省エネルギー法などに基づく国の技術基準等の作成や、関連技術政策の立案に反映するため、住宅・一般建築・都市に関する耐震、火災安全、省エネルギー、環境配慮、居住性向上等の技術について、行政と連携を図りつつ基盤的な研究開発等を行う。 ②開発途上国等における地震防災対策の向上に資するため、JICAと連携して地震工学に関する研修を行い、開発途上国当の技術者を養成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2,011	2,011	1,924	1,745	1,757
		補正予算	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0		
		計	2,011	2,011	1,924	1,745	
		執行額	2,011	2,011	1,924		
	執行率 (%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	建築研究所が作成に参画した主な国の技術基準数(公布ベース) <small>※国の技術基準の策定・改正は、建築研究所の成果を受け取った後の国の作業状況によるため、目標値及び達成度を示すことができない。</small>	成果実績	件	25 (改正省エネ法関連等)	5	4	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施研究課題数 (重点的研究開発課題、基盤研究課題の合計)	活動実績 (当初見込み)	課題	49	48	40 (42)	— (40程度)
単位当たりコスト	研究課題1課題当たりのコスト 48.1(百万円/課題)	算出根拠	・22年度予算(国費)(X1)=1,924百万円 ・22年度実施の研究課題数 (Y1)=40件 ・研究課題1課題当たりコスト=X1/Y1=48.1百万円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	人件費	943	963	退職手当の増			
	一般管理費	241	237				
	業務経費	561	557				
	計	1,745	1,757				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・建築研究所においては、人件費に国と同一の俸給表を用いており、また、契約については一般競争入札によることを原則としている。さらに、収入支出管理を厳正に行っており、支出先及び使途の把握は確実になされている。</p> <p>・研究開発の開始前・中間段階、終了後に、研究評価実施要領に基づき、研究所内部の相互評価による内部評価と外部の学識者・専門家等による外部評価により、研究開発の必要性、実施状況、成果の質、研究体制等について評価を受けており、これを踏まえて適切に研究開発等を実施している。また、研究所が実施する必要性の評価も受けており、これにより他の研究機関の研究内容との重複排除を行っている。なお、この評価結果とその対応状況は建築研究所ホームページで公表している。</p> <p>・このほか、毎年度、独立行政法人通則法に基づき業務実績に関する評価を国土交通省独立行政法人評価委員会より受けている。平成21年度の業績評価では、「着実な実施状況にある」と評価された。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・平成22年8月に研究開発について総点検を行い、技術基準の作成と関連の薄いと判断した研究2課題を取りやめ、住宅、建築及び都市に関する基準作成関連の研究に一層の重点化・深化を図った。</p> <p>・平成22年11月に研究評価実施要領を改正し、「建築研究所が実施する必要性」を評価項目として明記するとともに、研究課題ごとの評価書にも明記することとし、同年度中に実施する研究評価から適用した。</p> <p>・平成22年6月に策定した「随意契約等の見直し計画」に基づき、一者応札・一者応募の見直し、随意契約の見直しを行った。平成22年10月からは、より競争性の高い契約に向け、公告(公示)を行う一般競争入札案件では、ホームページにおいて従来からの公告(公示文)に加え、仕様書、説明書、契約書案を掲載している。</p> <p>・平成23年3月に策定した第三期中期計画では、社会的要請の高く、明確な成果を早期に得ることを目指す重点的研究開発課題10課題に取り組みすることとし、第二期中期計画の16課題から重点化を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善⑤⑦	引き続き、真に国が行うべき分野への限定、緊急性の高いものへの重点化を図ること。また、引き続き、発注に当たってはコストを精査の上縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方式の導入を進める。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
【執行等改善】 引き続き、真に建築研究所が行うべき分野への限定、緊急性の高いものへの重点化を図りまた、発注に当たってはコストを精査の上縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方式の導入を進める。			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第2弾○ 事業番号:B-16 事業名:建築及び都市計画に係る技術に関する調査、試験、研究及び開発等</p> <p>評価結果「建築及び都市計画に係る技術に関する調査、試験、研究及び開発等」 当該法人が実施し、事業規模は縮減 ただし、独立行政法人改革の議論の中で、基準作成関連とそれ以外の研究を整理しつつ、旧建設省系の他の研究所と併せてそのあり方を抜本的に見直す 〈対象事業〉 ・国が実施機関を競争的に決定 4名(事業規模 縮減 1名、現状維持 2名、拡充 1名) ・国等が実施 4名(事業規模 縮減 2名、現状維持 2名) ・当該法人が実施 5名(事業規模 縮減 3名、現状維持 2名) 〈見直しを行う場合の内容〉 ・自己収入の拡大 1名 ・ガバナンスの強化 2名</p> <p>とりまとめコメント 当該法人が実施するが、事業規模は縮減とする意見が最も多かったが、国が実施機関を競争的に決定及び国等が実施とする意見も、それぞれ4名であった。 このため、当該法人が実施すると判断するが、基準作りなどの部分は国が直接実施するということも可能性としてはあること、更には、基準作り以外の部分については、まさに民間の皆さんと競争的に国が研究の発注をするということもある。 そして、もう一点は、土木研究所についても言及されたが、6月以降、独立行政法人改革を抜本的に行うことになっており、その中で便宜的に分割されている旧建設省系の研究法人の在り方を抜本的に見直していただきたい。 すなわち、結論としては、現状として、当該法人が実施し、事業規模は縮減とするが、選択肢、可能性は非常に幅広にあるということである。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
 (資金の受け
 取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)

		国土交通省		
		1,924百万円		
		【国が実施する技術基準の作成や関連行政施策の立案等に反映できる研究を実施】		
		【交付】		
		A. (独)建築研究所		
		運営費交付金		
		1,924百万円		
		【建築技術に関する調査、試験、研究及び開発等を実施】		
		【一般競争、少額随契】		
		B. 民間企業(66社)		
		87百万円		
		【研究実施に必要な調査、データの計測等】		
		【一般競争、少額随契】		
		C. 公益法人等(8法人)		
		10百万円		
		【研究実施に必要な調査、データの計測等】		
		【企画競争】		
		D. (株)市浦ハウジング&プランニング		
		22百万円		
		【研究実施に必要な調査、データの計測等】		
		【企画競争】		
		E. 国立大学法人 政策研究大学院大学		
		15百万円		
		【研究実施に必要な調査、データの計測等】		

A.(独)建築研究所			E.国立大学法人 政策研究大学院大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員人件費	1,024	役務費	開発途上国における在来工法住宅の現況に関する調査・検討業務	9
その他	物品購入費等	766	役務費	マンション建替事例の実態調査に基づく課題の整理と制度改善による建替促進効果等のモデル分析業務	6
外部委託等	研究に必要な調査、計測等及び施設の整備等	134			
計		1,924	計		15
B.山田建物(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	耐震実験用超高層鉄筋コンクリート試験体の製作	6.7			
役務費	基礎すべり実験用試験体の製作	1			
役務費	高強度基礎すべり実験用試験体の製作	1			
役務費	2分力計の設置及び取り外し	0.3			
計		9	計		0
C.有限責任事業組合理人環境デザイン研究所			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	BIMを用いた維持保全情報集約素システムのデモプログラムの作成	4			
計		4	計		0
D.(株)市浦ハウジング&プランニング			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	人口減少社会における良好な生活環境の維持・創出の仕組みに関する調査・検討業務	12			
役務費	流通タイプ分類に対応した既存住宅の流通モデル提案と流通促進の仕組みに関する調査・検討業務	10			
計		22	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山田建物(株)	耐震実験用超高層鉄筋コンクリート試験体の製作等	9		
2	(有)中村商事	仕上材の躯体保護効果確認実験の実験補助業務等	7		
3	(株)メック	夏季における集合住宅のエネルギー消費実態把握のための実験補助業務等	5		
4	八千代エンジニアリング(株)	防犯に配慮した新市街地形成ガイドライン作成補助業務	5	3	非公表
5	みずほ情報総研(株)	街区空調負荷数値計算システムの構築業務	4	1	非公表
6	日本環境技研(株)	低炭素都市数値解析業務	4	1	非公表
7	西華産業(株)	風雨実験棟3次元風速測定サポートに関する業務等	3		
8	(株)巴技研	鉄骨造柱梁接合部立体試験体の2方向載荷実験業務等	3		
9	(株)ハオ技術コンサルタント	夏季市街地日陰形態係数算出業務	3	1	非公表
10	(株)エムテック	振動実験用擁壁試験体製作業務等	2		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限責任事業組合人間環境デザイン研究所	BIMを用いた維持保全情報集約素システムのデモプログラムの作成	4	1	非公表
2	(財)建材試験センター	屋外ばくろ9年を経過したメンブレン防水層の性能評価試験	2	1	非公表
3	(財)ベタリービング	伝統的木造建築物の構面の水平加力実験補助	1		少額随意契約
4	特定非営利活動法人 蒸暑地域住まいの研究会	沖縄県内における既存戸建て住宅の実態に関する調査・整理業務	1		少額随意契約
5	一般社団法人 良質リフォームの会	既存住宅の流通とあわせたりフォーム事例の収集・整理業務	0.5		少額随意契約
6	特定非営利活動法人 建築市場研究会	木材履歴管理支援ツール検証業務	0.5		少額随意契約
7	全国ビルリフォーム工事業協同組合	複合改修工法を施した暴露試験体の劣化調査及び暴露試験体の複合改修工法による再施工	0.5		少額随意契約
8	(財)日本燃焼機器検査協	灯油の発熱量試験・密度試験業務	0.3		少額随意契約

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)市浦ハウジング&プランニング	人口減少社会における良好な生活環境の維持・創出の仕組みに関する調査・検討業務	12	随意契約 (企画競争)	非公表
		流通タイプ分類に対応した既存住宅の流通モデル提案と流通促進の仕組みに関する調査・検討業務			

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人 政策研究大学院大学	開発途上国における在来工法住宅の現況に関する調査・検討業務	9	随意契約 (企画競争)	非公表
		マンション建替事例の実態調査に基づく課題の整理と制度改善による	6	随意契約 (企画競争)	非公表